

企画展

描かれた

# 江戸の商人

販促ツールと  
商いの秘訣





# ごあいさつ

貨幣博物館のある江戸・日本橋をはじめ、都市では、古くより商人らによってさまざまな販売方法や流通の仕組みが編み出されてきました。そして、多様な宣伝方法により、人気のある店や商品に関する情報が溢れ、日々活発な売買が繰り広げられていました。

本企画展では、江戸から明治時代にかけて活躍した商人に焦点をあて、貨幣博物館所蔵の浮世絵や双六などの絵画資料の中から商いの様子をご紹介します。

また、当時使われていた商家の看板や、商人たちが販売スタイルに合わせて使い分けていた数々の道具類を初めて公開します。加えて、江戸時代に商売の販促ツールとして使われた出版物—引札(広告)—などもご紹介します。

商いが大きく発展した江戸時代、商売に関わる人々が効果的な販売促進のために重ねた工夫から、現在にもつながる商いの秘訣を垣間見ていただければ幸いです。

日本銀行金融研究所貨幣博物館

---

## 目次

|                     |    |
|---------------------|----|
| ごあいさつ・目次            | 2  |
| 第1章                 |    |
| 全国をめぐる商品・お金         |    |
| —大店・見世売り・仮設店舗・棒手振り— | 3  |
| 第2章                 |    |
| 商人と両替・お金持ちへの道       | 21 |
| 第3章                 |    |
| さまざまな販促ツール　ほか       | 33 |
| 展示資料一覧              | 52 |
| 主要参考文献              | 54 |
| 協力者一覧・謝辞            | 55 |

---

### 凡例

- ・本書は、日本銀行金融研究所貨幣博物館が開催する企画展「描かれた江戸の商人—販促ツールと商いの秘訣—」(会期:2024年11月8日(金)～2025年2月2日(日))の展示図録である。
- ・本書に掲載の資料は、特に注記のない限り、日本銀行金融研究所貨幣博物館の所蔵資料である。
- ・本書に掲載の資料は、一部展示されない資料を含んでいる。
- ・図版、資料番号の後に解説を付した。
- ・資料名は原則として資料に表記されている原題としたが、資料の内容に即して適宜付したものもある。